【家庭基礎（家基002-901）】内容のまとまりごとの評価規準例

※内容により，同じ評価の観点が重複して複数箇所に入っている場合があります。

単元名	項目名	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭科の学び方 言語活動の充実 巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	家庭科の学び方	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	生活に生かそう 自分の意見を文章にまとめよう			
第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する	・人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生活設計について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 目標を持って生きる	・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第2章 人生をつくる	1 人生をつくる	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。		・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，青年期の自立と家族・家庭について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 家族・家庭を見つめる	・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。	・男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	3 これからの家庭生活と社会	・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために，自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第3章 子どもと共に育つ	1 命を育む	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。		・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子供の生活と保育について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 子どもの育つ力を知る	・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。		
	3 子どもと関わる	・親の役割と保育について理解している。	・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4 子どもとの触れ合いから学ぶ	・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。		
	5 これからの保育環境	・子供を取り巻く社会環境について理解している。 ・子育て支援について理解している。	・子供の健やかな発達のために地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会を迎えて	・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。		・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 高齢者の心身の特徴	・高齢期の心身の特徴について理解している。		
	3 これからの超高齢社会	・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第5章 共に生き，共に支える	1 私たちの生活と福祉	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。		・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，共生社会と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 社会保障の考え方	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。		
	3 共に生きる		・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第6章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考える	・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。		・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 食事と栄養・食品	・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について理解している。	・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	3 食生活の選択と安全	・健康や環境に配慮した食生活について理解している。 ・食品衛生について理解している。	・食の安全について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4 生涯の健康を見通した食事計画	・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 ・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。		
	5 調理の基礎	・おいしさの構成要素について理解している。 ・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。		
	6 食生活の文化と知恵		・食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	7 これからの食生活		・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第7章 衣生活をつくる	1 被服の役割を考える	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。	・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 被服を入手する	・被服材料について理解している。 ・被服構成について理解している。 ・被服衛生について理解している。		
	3 被服を管理する	・被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。		
	4 衣生活の文化と知恵		・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	5 これからの衣生活	・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。	・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第8章 住生活をつくる	1 住生活の変遷と住居の機能	・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。	・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住生活と住環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 安全で快適な住生活の計画	・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。		
	3 住生活の文化と知恵		・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4 これからの住生活		・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第9章 経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定	・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。	・自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意思決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
	2 購入・支払いのルールと方法	・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。		
	3 消費者の権利と責任	・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。	・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4 生涯の経済生活を見通す	・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	5 これからの経済生活	・生活における経済と社会との関わりについて理解している。	・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第10章 持続可能な生活を営む	1 持続可能な社会を目指して	・生活と環境との関わりについて理解している。 ・持続可能な消費について理解している。 ・持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。	・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，持続可能なライフスタイルと環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第11章 これからの生活を創造する	1 生活をデザインする	・人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生活設計について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

（内容解説資料）この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。